

浜の活力再生プラン

令和7～11年度

第3期

1 地域水産業再生委員会

組織名	小松島地区地域水産業再生委員会（小松島地区）
代表者名	会長 三原 秀之

再生委員会の構成員	小松島市、小松島漁業協同組合、和田島漁業協同組合
オブザーバー	徳島県水産振興課

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	対象地域：徳島県小松島市小松島町、中田町、横須町及び金磯町 対象漁業経営体数：21（漁業者数 22） 漁業種類：小型機船底びき網漁業 令和6年12月時点
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>小松島市は四国東部の紀伊水道沿岸のほぼ中央に位置し、当地区周辺海域は、吉野川・那賀川の2本の一級河川が流れ込む好漁場を有し、小型機船底びき網漁業、瀬戸内海機船船びき網漁業やワカメ養殖業が盛んに行われている。主魚種としてハモ、エビ類、イカ類、シラスなどがあり、ハモは市推奨の魚にもなっており日本有数の水揚げ高を誇っている。また、平成29年度において中小企業庁の「ふるさと名物応援宣言」も「ハモ」で行ったところであり、地域ブランドとして、また観光資源としても重要な産物となっている。</p> <p>しかし、温暖化により海水温が上昇していることが影響と見受けられる魚類の回遊路や回遊時期の変動、また開発による埋め立てにより、漁場環境の変化や藻場の喪失等で年々漁獲量の減少が危惧されている。</p> <p>また、組合員も年々減少傾向であり、漁業後継者不足や魚価の低迷などに直面している。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

<p>小型機船底びき網漁業にとって最大のコストである燃油が異常高騰した場合に対応するため漁業経営セーフティーネット構築事業に加入し経営の安定化を図るほか、資源管理にも注力し浜の活力再生プランに取り組むことにより、真の浜の活力再生に取り組んでいく。</p>

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

<p>【漁業収入向上のための取組】</p> <p>(鮮度保持による付加価値の向上の取組)</p> <p>今期も曳航時間を短縮する等して鮮度保持に漁業者が努めるほか、元根井地区に整備した蓄養水槽を活用することで主に鱧の鮮度保持に努めるほか、プロトン凍結機等の技術を活用し冷凍加工品(鱧・イカ・エビ)の付加価値向上を図り収入向上に努める。</p> <p>(販路拡大、認知度向上の取組)</p> <p>鱧、イカ等の加工品をプロトン凍結機等、最新技術を取り入れ付加価値を向上させパンフレットやインターネットなどを利用した通信販売の強化を図り、販路拡大と認知度向上を図ることにより、原材料となる漁獲物の単価向上を目指す。</p> <p>また、地域の事業者と連携を図りながら鱧等の水産資源を活用した新商品開発を積極的に行い、6次産業化の取組を図る。</p> <p>(地先資源の維持・回復の取組)</p> <p>漁協と漁業者が関係機関と連携し、種苗放流(ヒラメ、クルマエビ、マコガレイ、アジアカエビ)により資源の底上げ等を積極的に行い、地先資源の維持、回復に努める。</p> <p>また、青年部が主体となって漁協と協力し、アサリの放流やアマモの種を植えることにより、水質改善や藻場の回復を図る。</p> <p>さらに、曳網時間の短縮により乱獲を防ぎ、資源の維持回復に取り組み資源管理に努める。</p> <p>【漁業コスト削減のための取組】</p> <p>(省エネ機器・設備導入の取組)</p> <p>省エネ機器・設備導入により整備コスト削減及び省燃油に繋げるよう努める。</p> <p>(減速航行の取組)</p> <p>減速航行(機関回転数を200回転下げる)を実施し燃油コスト削減に努める。</p> <p>(船底清掃の取組)</p> <p>船底清掃により船底と海面の抵抗を少なくし、燃費向上を図ることで経費削減に努める。</p> <p>(操業時間低減の取組)</p>

操業時間を低減させることにより、燃油コスト削減に努める。

【漁村活性化のための取組】

(食育の取組)

小松島漁協は小松島市食育推進協議会の会員として、引き続き小松島市の小学校を対象とした地元水産物の食育活動(学校給食への食材提供)等の取組に参加し、イベント等(地域高校の料理コンテストへの食材提供等)を通じて地産地消の推進及び地元水産物の消費拡大につとめ、次世代に向けた魚食文化の継承に向けて取り組んでいく。

また、保育園児から小中学生を対象に海鮮朝市の見学や職場体験を通じ、食育の取組を推進する。

(PR 活動の取組)

小松島漁協主催でみなと海鮮朝市を週 5 日開催し漁獲物の販売を促進し、地元水産物の認知度向上及び地産地消、消費拡大を図る。

また、小松島漁協 DE マルシェも開催し地域活性化を図るとともに、販売を強化しブランド認知の向上を目指す他、3 期も市等と連携しながらプロモーション活動に向けた取組について積極的な検討を行い、首都圏や関西圏でのイベントに積極的に参加することで、更なる販路拡大を図る。

これらの取組に関しては、国、県、市の事業の活用を図ることとし、漁業収入向上と漁業コスト削減とを組み合わせ、総合的に漁業者の所得向上を図る。

(3) 資源管理に係る取り組み

【小型船びき網漁業】

- ・漁業者の自主的取組として操業時間の短縮を実施し資源管理に努めている。
- ・徳島県小松島漁業協同組合における資源管理協定(令和 5 年 1 2 月 2 5 日締結)により以下の取組を行っている。

2/1 から 1/31 の期間中、150 日以上の休漁

週 2 日以上の休漁

徳島県中部底曳網協会において定めた資源管理の取組

体重 200g 以下、あるいは 4kg 以上のハモの再放流

(4) 具体的な取組内容 (毎年ごとに数値目標とともに記載)

1 年目 (令和 7 年度)「所得向上 19.52%」

漁業収入向上のための取組	(鮮度保持による付加価値向上の取組) 小松島漁協の小型機船底びき網漁業において、1 操業あたりの曳網時間の短縮や 1 日あたりの操業時間の短縮をさらに進めることにより、釣りの漁獲物に負けないスレが少なく鮮度の高い漁獲物を水揚げし、畜養水槽を活用する
--------------	---

	<p>ことにより鮮度保持に努める。小エビに関しても砕氷の積極利用により、黒変等の品質劣化を防ぎ付加価値を向上させて更なる単価向上を図る。</p> <p>(販路拡大、認知度向上の取組)</p> <p>鱧、イカ等の加工品をプロトン凍結機等、最新技術を取り入れ付加価値を向上させ、パンフレットやインターネットなどを利用した通信販売の強化を図り、販路拡大と認知度向上を図ることにより、原料となる漁獲物の単価向上を目指す。</p> <p>また、地域の事業者と連携を図りながらハマ等の水産資源を活用した新商品開発を積極的に行い、6次産業化の取組を図る。</p> <p>(地先資源の維持・回復の取組)</p> <p>漁協と漁業者が関係機関と連携し、ヒラメやクルマエビ、マコガレイ、アジアカエビの種苗放流に取り組み、資源の底上げを積極的に行うほか、青年部が主体となって小松島漁協と協力し、アサリの放流やアマモの種を植えることにより、水質改善や藻場の回復を図る。さらに、曳き網時間の短縮により乱獲を防ぎ、資源の維持回復を図り資源管理に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>当委員会構成員の船舶燃費向上を図るため、年に1回は船底清掃を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減速航行の積極的な実施。 ・小型機船底びき網漁船の機関を省エネ機関へ機関換装し燃油消費量削減を実現する。 ・操業時間を低減させることにより、燃油コスト削減を実現するため、部会等で検討する。
<p>漁村活性化のための取組</p>	<p>(食育活動の取組)</p> <p>小松島市食育実務者会議の会員として、教育機関や行政機関と連携しながら小松島市内の小学校を対象とした地元水産物の食育活動(学校給食への食材提供)等の取組に参加することや、イベント等(地域高校の料理コンテストへの食材提供等)を通じて地産地消の推進及び地元水産物の消費拡大に努め、次世代に向けた食文化の継承に向けて取り組んでいく。</p> <p>また、保育園児から小中学生を対象に海鮮朝市の見学や職場体験を通じ、食育の取組を推進する。</p> <p>(PR活度の取組)</p> <p>小松島みなと海鮮朝市を週5回開催し漁獲物の販売を促進し、地元水産物の認知度向上及び地産地消、消費拡大を図るとともに、小松島漁協 DE マルシェも開催し地域活性化を図る。</p> <p>また、鱧加工品、干しエビ等は他県で開催される徳島県や小松島市参加の各イベント、地元小松島市主催の各イベントに積極的に参加・出品し、地元水産物</p>

	<p>の認知度向上に務める。</p> <p>他、主に大都市圏を中心としたプロモーション活動に向けた取組について積極的な検討を行っていく。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p> <p>水産業強化支援事業（浜の活力再生・成長促進交付金）</p> <p>水産業強化支援事業（国）</p> <p>漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国）</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）</p> <p>とくしま農山漁村未来投資事業（県）</p> <p>小松島市単独漁業後継者育成対策事業（市）</p>

2年目（令和8年度）「所得向上 21.19%」

漁業収入向上のための取組	<p>（鮮度保持による付加価値向上の取組）</p> <p>小松島漁協の小型機船底びき網漁業において、1操業あたりの曳網時間の短縮や1日あたりの操業時間の短縮をさらに進めることにより、釣りの漁獲物に負けないスレが少なく鮮度の高い漁獲物を水揚げし、畜養水槽を活用することにより鮮度保持に努める。</p> <p>小エビに関しても砕氷の積極利用により、黒変等の品質劣化を防ぎ付加価値を向上させて更なる単価向上を図る。</p> <p>（販路拡大、認知度向上の取組）</p> <p>鱧、イカ等の加工品をプロトン凍結機等、最新技術を取り入れ付加価値を向上させ、パンフレットやインターネットなどを利用した通信販売の強化を図り、販路拡大と認知度向上を図ることにより、原料となる漁獲物の単価向上を目指す。</p> <p>地域の事業者と連携を図りながらハモ等の水産資源を活用した新商品開発を積極的に行い、6次産業化の取組を図る。</p> <p>（地先資源の維持・回復の取組）</p> <p>漁協と漁業者が関係機関と連携し、ヒラメやクルマエビ、マコガレイ、アジアカエビの種苗放流に取り組み、資源の底上げを積極的に行うほか、青年部が主体となって小松島漁協と協力し、アサリの放流やアマモの種を植えること</p>
--------------	---

	により水質改善や藻場の回復を図る。さらに、曳き網時間の短縮により乱獲を防ぎ、資源の維持回復を図り資源管理に努める。
漁業コスト削減のための取組	当委員会構成員の船舶燃費向上を図るため、年に1回は船底清掃を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・減速航行の積極的な実施。 ・小型機船底びき網漁船の機関を省エネ機関へ機関換装し燃油消費量削減を実現する。 ・操業時間を低減させることにより、燃油コスト削減を実現するため、部会等で検討し、必要があれば他の地区の取組視察等の調査を実施する。
漁村活性化のための取組	(食育活動の取組) 小松島市食育実務者会議の会員として、教育機関や行政機関と連携しながら小松島市内の小学校を対象とした地元水産物の食育活動(学校給食への食材提供)等の取組に参加することや、イベント等(地域高校の料理コンテストへの食材提供等)を通じて地産地消の推進及び地元水産物の消費拡大に努め、次世代に向けた食文化の継承に向けて取り組んでいく。 また、保育園児から小中学生を対象に海鮮朝市の見学や職場体験を通じ、食育の取組を推進する。 (PR 活度の取組) 小松島みなと海鮮朝市を週5回開催し漁獲物の販売を促進し、地元水産物の認知度向上及び地産地消、消費拡大を図るとともに、小松島漁協 DE マルシェも開催し地域活性化を図る。 また、鱧加工品、干しエビ等は他県で開催される徳島県や小松島市参加の各イベント、地元小松島市主催の各イベントに積極的に参加・出品し、地元水産物の認知度向上に務める。 他、主に大都市圏を中心としたプロモーション活動に向けた取組について積極的な検討を行っていく。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティーネット構築事業 (国) 水産業強化支援事業 (浜の活力再生・成長促進交付金) 水産業強化支援事業 (国) 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業 (国) 水産業成長産業化沿岸地域創出事業 (国) とくしま農山漁村未来投資事業 (県) 小松島市単独漁業後継者育成対策事業 (市)

3年目 (令和9年度) 「所得向上 22.23%」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(鮮度保持による付加価値向上の取組)</p> <p>小松島漁協の小型機船底びき網漁業において、1 操業あたりの曳網時間の短縮や1 日あたりの操業時間の短縮をさらに進めることにより、釣りの漁獲物に負けないスレが少なく鮮度の高い漁獲物を水揚げし、畜養水槽を活用することにより鮮度保持に努める。</p> <p>小エビに関しても砕氷の積極利用により、黒変等の品質劣化を防ぎ付加価値を向上させて更なる単価向上を図る。</p> <p>(販路拡大、認知度向上の取組)</p> <p>鱧、イカ等の加工品をプロトン凍結機等、最新技術を取り入れ付加価値を向上させ、パンフレットやインターネットなどを利用した通信販売の強化を図り、販路拡大と認知度向上を図ることにより、原料となる漁獲物の単価向上を目指す。</p> <p>地域の事業者と連携を図りながらハモ等の水産資源を活用した新商品開発を積極的に行い、6 次産業化の取組を図る。</p> <p>(地先資源の維持・回復の取組)</p> <p>漁協と漁業者が関係機関と連携し、ヒラメやクルマエビ、マコガレイ、アジアカエビの種苗放流に取り組み、資源の底上げを積極的に行うほか、青年部が主体となって小松島漁協と協力し、アサリの放流やアマモの種を植えることにより水質改善や藻場の回復を図る。さらに、曳き網時間の短縮により乱獲を防ぎ、資源の維持回復を図り資源管理に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>当委員会構成員の船舶燃費向上を図るため、年に1 回は船底清掃を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減速航行の積極的な実施。 ・小型機船底びき網漁船の機関を省エネ機関へ機関換装し燃油消費量削減を実現する。 ・操業時間を低減させることにより、燃油コスト削減を実現するため、部会等で検討し、視察等の調査内容を勘案しながら地区に見合った方法を検討する。
<p>漁村活性化のための取組</p>	<p>(食育活動の取組)</p> <p>小松島市食育実務者会議の会員として、教育機関や行政機関と連携しながら小松島市内の小学校を対象とした地元水産物の食育活動(学校給食への食材提供)等の取組に参加することや、イベント等(地域高校の料理コンテストへの食材提供等)を通じて地産地消の推進及び地元水産物の消費拡大に努め、次世代に向けた食文化の継承に向けて取り組んでいく。</p> <p>また、保育園児から小中学生を対象に海鮮朝市の見学や職場体験を通じ、食育の取組を推進する。</p>

	<p>(PR 活度の取組)</p> <p>小松島みなと海鮮朝市を週 5 回開催し漁獲物の販売を促進し、地元水産物の認知度向上及び地産地消、消費拡大を図るとともに、小松島漁協 DE マルシェも開催し地域活性化を図る。</p> <p>また、鰯加工品、干しエビ等は他県で開催される徳島県や小松島市参加の各イベント、地元小松島市主催の各イベントに積極的に参加・出品し、地元水産物の認知度向上に務める。</p> <p>他、主に大都市圏を中心としたプロモーション活動に向けた取組について積極的な検討を行っていく。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティネット構築事業（国）</p> <p>水産業強化支援事業（浜の活力再生・成長促進交付金）</p> <p>水産業強化支援事業（国）</p> <p>漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国）</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）</p> <p>とくしま農山漁村未来投資事業（県）</p> <p>小松島市単独漁業後継者育成対策事業（市）</p>

4 年目（令和 10 年度）「所得向上 23.26%」

漁業収入向上のための取組	<p>(鮮度保持による付加価値向上の取組)</p> <p>小松島漁協の小型機船底びき網漁業において、1 操業あたりの曳網時間の短縮や 1 日あたりの操業時間の短縮をさらに進めることにより、釣りの漁獲物に負けないスレが少なく鮮度の高い漁獲物を水揚げし、畜養水槽を活用することにより鮮度保持に努める。</p> <p>小エビに関しても砕氷の積極利用により、黒変等の品質劣化を防ぎ付加価値を向上させて更なる単価向上を図る。</p> <p>(販路拡大、認知度向上の取組)</p> <p>鰯、イカ等の加工品をプロトン凍結機等、最新技術を取り入れ付加価値を向上させ、パンフレットやインターネットなどを利用した通信販売の強化を図り、販路拡大と認知度向上を図ることにより、原料となる漁獲物の単価向上を目指す。</p> <p>地域の事業者と連携を図りながらハモ等の水産資源を活用した新商品開発を積極的に行い、6 次産業化の取組を図る。</p>
--------------	---

	<p>(地先資源の維持・回復の取組)</p> <p>漁協と漁業者が関係機関と連携し、ヒラメやクルマエビ、マコガレイ、アシアカエビの種苗放流に取り組み、資源の底上げを積極的に行うほか、青年部が主体となって小松島漁協と協力し、アサリの放流やアマモの種を植えることにより水質改善や藻場の回復を図る。さらに、曳き網時間の短縮により乱獲を防ぎ、資源の維持回復を図り資源管理に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>当委員会構成員の船舶燃費向上を図るため、年に1回は船底清掃を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減速航行の積極的な実施。 ・小型機船底びき網漁船の機関を省エネ機関へ機関換装し燃油消費量削減を実現する。 ・操業時間を低減させることにより、燃油コスト削減を実現するため、これまでの検討の結果に基づき、試験的に実施する。
漁村活性化のための取組	<p>(食育活動の取組)</p> <p>小松島市食育実務者会議の会員として、教育機関や行政機関と連携しながら小松島市内の小学校を対象とした地元水産物の食育活動(学校給食への食材提供)等の取組に参加することや、イベント等(地域高校の料理コンテストへの食材提供等)を通じて地産地消の推進及び地元水産物の消費拡大に努め、次世代に向けた食文化の継承に向けて取り組んでいく。</p> <p>また、保育園児から小中学生を対象に海鮮朝市の見学や職場体験を通じ、食育の取組を推進する。</p> <p>(PR 活度の取組)</p> <p>小松島みなと海鮮朝市を週5回開催し漁獲物の販売を促進し、地元水産物の認知度向上及び地産地消、消費拡大を図るとともに、小松島漁協 DE マルシェも開催し地域活性化を図る。</p> <p>また、鱧加工品、干しエビ等は他県で開催される徳島県や小松島市参加の各イベント、地元小松島市主催の各イベントに積極的に参加・出品し、地元水産物の認知度向上に務める。</p> <p>他、主に大都市圏を中心としたプロモーション活動に向けた取組について積極的な検討を行っていく。</p>
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティネット構築事業 (国)</p> <p>水産業強化支援事業 (浜の活力再生・成長促進交付金)</p> <p>水産業強化支援事業 (国)</p> <p>漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業 (国)</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業 (国)</p>

	とくしま農山漁村未来投資事業（県） 小松島市単独漁業後継者育成対策事業（市）
--	---

5年目（令和11年度）「漁業者の所得24.3%以上向上」

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>（鮮度保持による付加価値向上の取組）</p> <p>小松島漁協の小型機船底びき網漁業において、1操業あたりの曳網時間の短縮や1日あたりの操業時間の短縮をさらに進めることにより、釣りの漁獲物に負けないスレが少なく鮮度の高い漁獲物を水揚げし、畜養水槽を活用することにより鮮度保持に努める。</p> <p>小エビに関しても砕氷の積極利用により、黒変等の品質劣化を防ぎ付加価値を向上させて更なる単価向上を図る。</p> <p>（販路拡大、認知度向上の取組）</p> <p>鱧、イカ等の加工品をプロトン凍結機等、最新技術を取り入れ付加価値を向上させ、パンフレットやインターネットなどを利用した通信販売の強化を図り、販路拡大と認知度向上を図ることにより、原料となる漁獲物の単価向上を目指す。</p> <p>地域の事業者と連携を図りながらハモ等の水産資源を活用した新商品開発を積極的に行い、6次産業化の取組を図る。</p> <p>（地先資源の維持・回復の取組）</p> <p>漁協と漁業者が関係機関と連携し、ヒラメやクルマエビ、マコガレイ、アシアカエビの種苗放流に取り組み、資源の底上げを積極的に行うほか、青年部が主体となって小松島漁協と協力し、アサリの放流やアマモの種を植えることにより水質改善や藻場の回復を図る。さらに、曳き網時間の短縮により乱獲を防ぎ、資源の維持回復を図り資源管理に努める。また、上記の取組に関して検証を行い、改善すべき点については次期のプランへ反映させることとする。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>当委員会構成員の船舶燃費向上を図るため、年に1回は船底清掃を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減速航行の積極的な実施。 ・小型機船底びき網漁船の機関を省エネ機関へ機関換装し燃油消費量削減を実現する。 ・操業時間を低減させることにより、燃油コスト削減を実現するため、これまでの調査等に基づき、地区に最適な操業時間について検討する。 <p>また、上記の取組に関して検証を行い、改善すべき点については次期のプランへ反映させることとする。</p>

<p>漁村活性化のための取組</p>	<p>(食育活動の取組)</p> <p>小松島市食育実務者会議の会員として、教育機関や行政機関と連携しながら小松島市内の小学校を対象とした地元水産物の食育活動(学校給食への食材提供)等の取組に参加することや、イベント等(地域高校の料理コンテストへの食材提供等)を通じて地産地消の推進及び地元水産物の消費拡大に努め、次世代に向けた食文化の継承に向けて取り組んでいく。</p> <p>また、保育園児から小中学生を対象に海鮮朝市の見学や職場体験を通じ、食育の取組を推進する。</p> <p>(PR 活度の取組)</p> <p>小松島みなと海鮮朝市を週5回開催し漁獲物の販売を促進し、地元水産物の認知度向上及び地産地消、消費拡大を図るとともに、小松島漁協 DE マルシェも開催し地域活性化を図る。</p> <p>また、鱧加工品、干しエビ等は他県で開催される徳島県や小松島市参加の各イベント、地元小松島市主催の各イベントに積極的に参加・出品し、地元水産物の認知度向上に務める。</p> <p>他、主に大都市圏を中心としたプロモーション活動に向けた取組について積極的な検討を行っていく。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティネット構築事業 (国)</p> <p>水産業強化支援事業 (浜の活力再生・成長促進交付金)</p> <p>水産業強化支援事業 (国)</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業 (国)</p> <p>水産業成長産業化沿岸地域創出事業 (国)</p> <p>徳島県単独水産振興関係事業 (県)</p> <p>徳島県農山漁村未来創造事業 (県)</p> <p>小松島市単独漁業後継者育成対策事業 (市)</p>

(5) 関係機関との連携

<p>国等の支援事業を積極的に活用し、徳島県漁業協同組合連合会、徳島県漁業共済組合、徳島県や小松島市及び研究機関等と連携を図る。</p>
--

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

① 所得向上の取組に係る成果目標

燃油使用料削減	基準年	令和元年～令和5年度 の5中3平均 21,798 円 (1経営体当たり)
	目標年	令和11年度 20,708 円 (1経営体当たり)

② 漁村活性化の取組に係る成果目標

みなと海鮮朝市来場者数の 10%増	基準年	令和2年～令和5年度平均	12,674 人
	目標年	令和11年度	13,941 人

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>①所得向上の取組に係る成果目標</p> <p>減速航行と船底清掃の取組により見込まれる燃料費削減の効果をそれぞれ見積もり積算した。取組内容に即した現実的な計算を行っており、妥当な目標設定であると判断した。別添資料 所得目標計算表参照別添資料 所得目標計算表参照</p> <p>②漁村活性化の取組に係る成果目標</p> <p>小松島みなと海鮮朝市利用者数は、令和元年～令和5年度の平均で12,674人となっている。今期浜プランにおいて、小松島漁協 DE マルシェの取組によりの交流人口数の増加を図ることで、</p>

令和11年度には過去の1.1倍となる年間13,941人を目指す。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃油価格高騰時に補填を受け、漁業経営の安定化を図る。
水産業強化支援事業（国）	浜プランに位置づけられた施設整備の支援。
漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国）	清掃活動や海洋環境学習等を通し、海の環境保全に努めることで地域資源の価値を向上させる。
水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）	収益性の向上と適切な資源管理の両立を図り、漁業者自らが策定した計画に基づき、目標達成に向けて必要な漁船、漁具等についてリース方式による円滑な導入を支援する。
とくしま農山漁村未来投資事業（県）	地域の未来を担う経営体を対象に規模拡大や経営転換に向けた投資を促進する取り組みを支援
小松島市単独漁業後継者育成対策事業（市）	漁業の次世代を担うリーダー及び後継者の人材を育成する取り組みを支援する。